

## 川のきれいさ

僕の住んでいる地域は、山に囲まれて、自然が豊かなところだ。住んでいる人も少なく、中学校も一クラスずつしかない。

僕が小学四年生のとき、総合学習で小学校の前の川を調べた。その川は大阪湾へと流れつく淀川の上流で布目ダムがある。まず、川の生物を調べた。その川には、タニシ、どじょうやヨシノボリなどたくさん生き物がいた。しかし、沢がにがすべて死んでいた。後に、沢がにが死んでいる原因は農薬のせいだと分かった。その川には、ビニール袋や長靴などのごみもたくさん捨てられていた。一番多かったのは空き缶だ。まだ中に飲料が残っているものもあった。これらのごみが川が汚れる大きな原因になっていた。僕は、農薬で生き物が死ぬという事は知らなかった。もつと水に住んでいる生き物を大切にしないと

天理市立福住中学校 二年

大和 大希

いけないとそのとき思った。

小学校では、「バックテスト」というものもした。バックテストとは、水の汚れを検査するもので、僕たちの学校ではCODという水の有機物を調べる検査をした。その結果、学校の前の川の汚れは、「きれいな水」から「少し汚い水」の間だと診断された。僕はそのとき、一見きれいに見える川でも、本当は汚くなっていることもあるのだということを知った。

僕たちは次に、なぜ川が汚れているのか、その原因を調べた。僕は、薬品のせいだと思っていたが、調べてみると家庭の排水や、農薬が汚れの主な原因だったことが分かった。実際、僕も使った水や洗剤などを何も気にせず家への排水溝に流していた。また、僕の地域は稲作が盛んで、田んぼのなかの肥料や農

薬が混じった水も用水路にそのまま流し、川に流れているのもよく見かける。

そのようなことを減らし、川をきれいにする方法も教えてもらった。その対処法は二つある。一つ目は、まずは川を好きになることだ。川を好きになることを具体的な行動で表せば、川の掃除や手入れを積極的に行う、つまりクリーンキャンペーンを行うことだ。市や町がやっている川をきれいにすることだ。取り組みには、誰でも参加できると教えてもらった。

二つ目は、食べ物を残したりしないということだ。食べ残しを排水と一緒に流してしまうと、川が汚れる原因になってしまう。そうしないようにするには普段からの心がけが大切である。

僕はこのようなことを知り、今自分にできることはないかと考えた。すぐできることは、食べ物を残さないということだ。僕の家ではよく、カレーなどが残ってしまう。僕たち家族は、残り物をしっかり食べ、片付けることを心がけた。その結果、あまり汚れた水を流さないようになった。

少し昔、日本一汚い川と言われていた千葉県春木川。その川の汚れの大きな原因が生活排水だったそう。市や県は、川の汚さを改善するために近くの川から水を運んでくる施設を設けたり、工場から出る排水処理の指導を強化したりしている。また、一人ひとりの心がけもあって、その川は魚がすめるところまで浄化されつつある。僕は、一人ひとりのちよつとした心がけで、川がきれいになるなんてすごいなと思った。

僕の川の水は、今はまだきれいだが、何も考えずに排水を流していると、将来汚くなってしまうかもしれない。そうならないために日常生活の心がけが大切である。その心がけを大切にし、布目ダムの水を使っている人々に、迷惑をかけないようにしていきたい。